

1995年2月6日

海のレクリエーションビークル

ヤマハ『SRV』 新発売

ヤマハ発動機株式会社では、ニューコンセプトボート『SRV（エスアールヴィ）』を新開発いたしました。これまでマリンレジャーに接することのなかった人々でも、陸上のアウトドア感覚で海が楽しめるボートです。第34回東京国際ボートショー（2月7日～12日）に出展するとともに、3月1日より発売いたします。



ヤマハ『SRV』

- <東京店頭渡し希望小売価格> 1,500,000円
- ・ヤマハ50馬力船外機（1基）付き
 - ・法定安全備品、エンジン取付け費、進水諸経費、消費税別
- <販売計画隻数> 1,000隻／初年度

ヤマハ発動機株式会社

本社広報室 ● 〒438 静岡県磐田市新貝2500
東京広報課 ● 〒104 東京都中央区銀座

TEL.0538 FAX.0538
TEL.03 FAX.03

< 市場背景と商品の概要 >

近年の余暇時間の増大に伴い、日本人のライフスタイルは確実に変化してきました。たとえば、RV車を駆ってオートキャンプに出かけたり、溪流でフライロッドを振るなど、アウトドア指向で休日を過ごす人たちが増えてきました。

ニューモデル『SRV (エスアールヴィ)』は、「海を新しいフィールドとして、アウトドアを楽しみませんか」と提案する商品で、特に、これまでマリレジャーに接する機会がなかったアウトドア派の方々にも気軽に乗りていただきたいボートです。従来のボートとは大きく異なる商品コンセプトに加え、新たな需要層の拡大を狙い、150万円と、これまでのマリレジャーの高価な遊びイメージをくつがえす価格を設定しています。

< 『SRV』 の特徴 >

■ レイアウト

・ 「センターウォークスルー」の採用で広く使えるデッキ

『SRV』は全長20フィート(6m)と小型に属するサイズですが、前部デッキをセンターウォークスルー(通路)で後部デッキとつなぎ、艇前部も遊びのスペースとして使えるレイアウトとしたため、デッキスペースで見ると2クラス上のボート並みの余裕があります。家族や仲間、そして、自然とのコミュニケーションを図る様々な使い勝手を可能にしました。

■ 外 観

・ 斬新なスタイリング

『SRV』のデザイン(外観)は、新しい海の乗り物にふさわしく、スポーツ心を刺激するデザインを採用しました。舷縁ラインは直線と曲線(コンソール周囲)を組み合わせ、新鮮なイメージを与えています。

・個性化のためのオプションを用意

ユーザーの好みに合わせ個性化が図れるように、『SRV』にはオーニング（日除け）など豊富なオプション（任意装備）を用意してありますので、自分だけのボートに仕上げるのが容易です。

また、市販のアウトドア用品を装備することで遊びの幅が広がり、ボートィングをより楽しいものにできるデザイン・コンセプトを持っています。

■「150万円」という普及価格を実現

これまでのボートのイメージをくつがえすような価格設定を実現するために、『SRV』は実績ある既存艇の型（船底部）を共通化しました。これにより、走行性能や安定性を保ちながら、開発コストを低減させています。

また、製造過程を見直し、製造工数の効率化を図りました。

さらに、販売隻数予測と出荷タイミングの精度を高めることで全体としての流通コストを削減しています。

以上のような合理化を追求することにより、普及価格を実現しています。

■快適なスピード性能

『SRV』のエンジンは定評あるヤマハ50馬力船外機で、27ノット（約50km/h）の快適なスピード（軽荷時）を発揮します。燃料タンク容量は24リットル携行タンクを3個まで備えることができます。

<『SRV』キャンペーンについて>

当社では『SRV』の商品情報や資料送付などを円滑にすすめるために『SRV』専用のフリーダイヤル「SRV コール」（0120-800024）を設けたほか、全国約200店を『SRV』核店として全国キャンペーン（展示・試乗会など）を実施いたします。

開発担当者のコメント

“海でアウトドアを楽しむ”ことがどうやって可能になるか——その答えを求めてたどりついたのが「センターウォークスルー」（艇中央部の通路）です。これは、これまでにはないインパクトのあるスタイリングを求めた結果ですが、キャビン付きに比べ艇のコストをおさえるという点でも効果的でした。そして、思い切ってオープンボートにすることで、艇の性格づけをアウトドア・アクティビティに絞り込むこともできました。

『SRV』の開発でいちばん苦労したのは、これまでにはない価格設定のフネで、しかも、品質はむしろ向上させようというところでした。製造工程を効率化するなどの努力で目標を実現することができました。

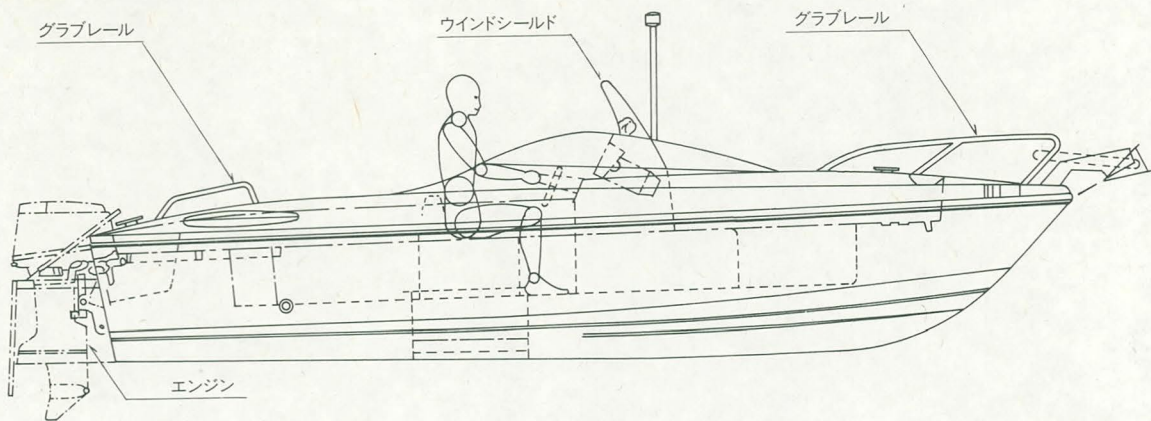
結果として、でき上がった『SRV』は、免許取りたての人でも扱いやすい、とても乗りやすいボートになっていると思います。

舟艇事業部 技術部舟艇設計課

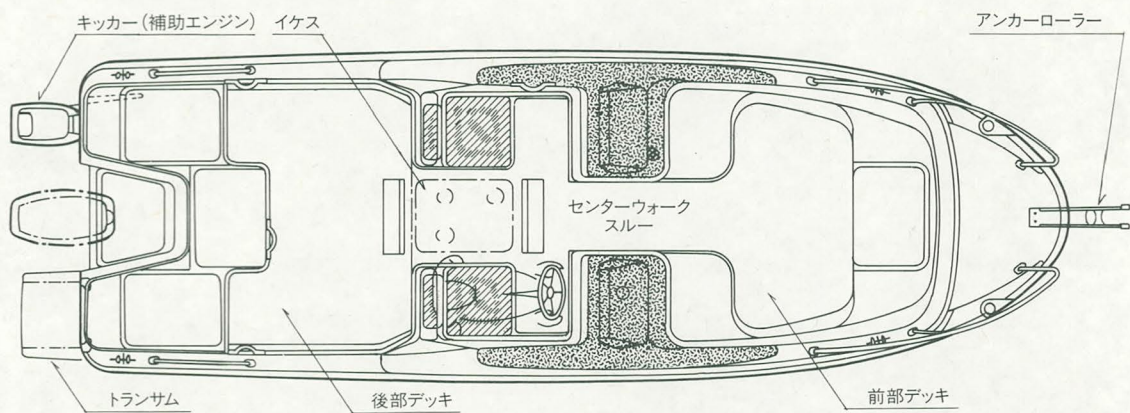
高 戸 勝 徳

< 『SRV』 のプラン >

■ 『SRV』 側面図



■ 『SRV』 デッキレイアウト



*イラストにはオプションが含まれています

< 『SRV』 主要諸元 >

- 全長 : 6.00m
- 全幅 : 2.00m
- 艇体重量 : 460kg
- エンジン : ヤマハ50馬力船外機 (1基)
- 燃料タンク容量 : 24ℓ (1個標準。計3個/72ℓまで増設可能)
- 総トン数 : 5トン未満
- 航行区域 : 限定沿海
- 定員 : 6名

- カラーリング : 艇体—ホワイト (赤・黒のライン入り)
デッキ—ホワイト